

旭川市科学館報

— 令和7年度版 —

Vol.18

発行:令和8(2026)年5月



開館 20 周年記念特別展
「特撮の DNA ゴジラ、旭川上陸」



ふらっとワークショップ



皆既月食

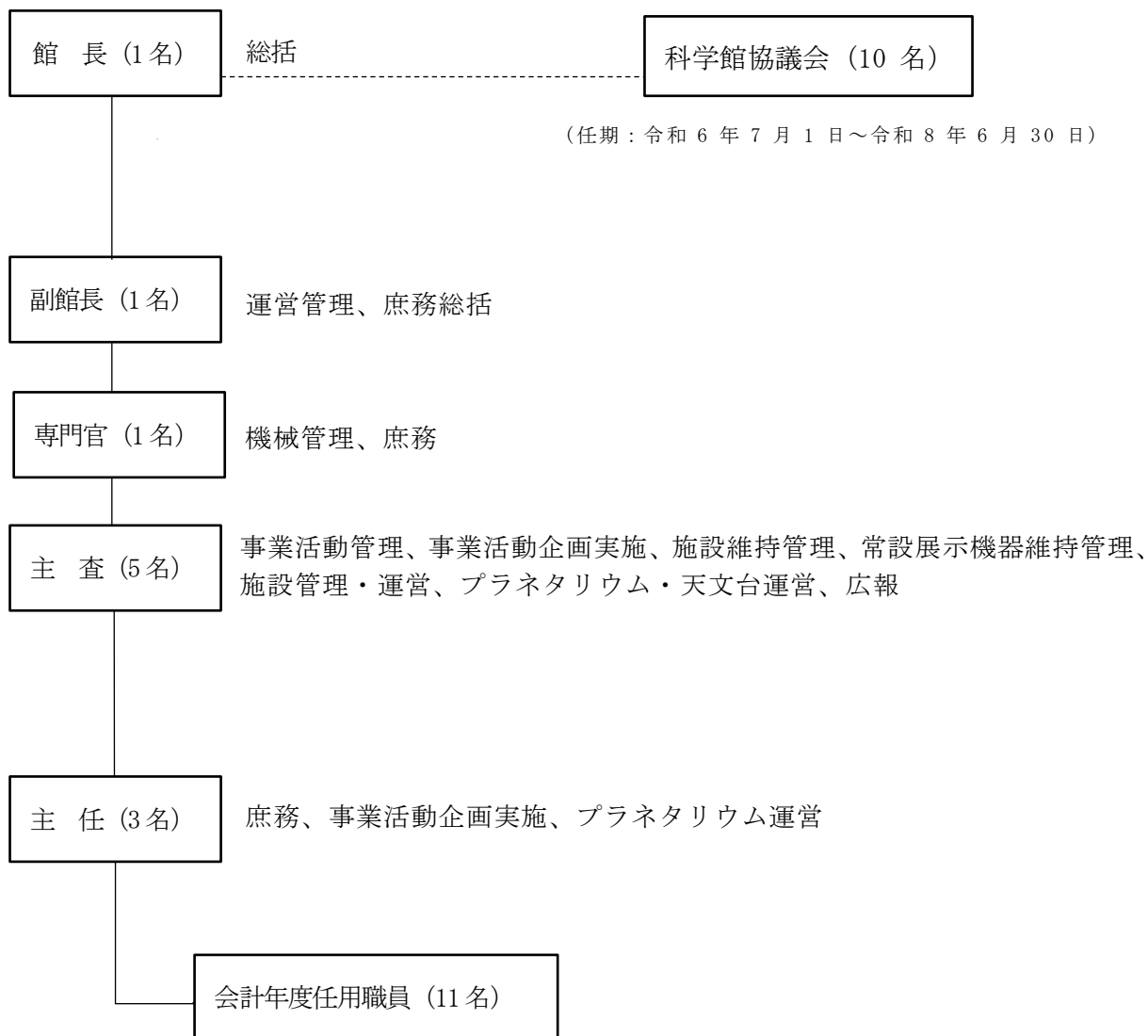


冬の自然観察会

目 次

運営組織及び職員数	1
I 旭川市科学館の概要	
1 考え方	2
2 沿革	2
3 施設概要	3
4 主要設備等	4
5 利用状況	6
II 学習普及活動	
1 展示事業	7
2 実験実習事業	8
3 科学イベント・行事	13
4 天文普及事業	15
5 学校等連携・人材育成事業	19
6 ボランティア等との連携事業	20
III その他の取組	
1 調査研究活動	22
2 刊行物	22
3 広報活動	23
4 旭川市科学館施設整備基金	24
IV 旭川市科学館利用案内	
1 開館時間・休館日	24
2 観覧料	25
3 貸室事業	26
4 施設へのアクセス	27

運営組織及び職員数



レファレンスルーム運営管理、理科実験指導、電子工作指導、パソコン指導、木工模型工作指導、天文観測指導、プラネタリウム解説、団体観覧受付、事務補助

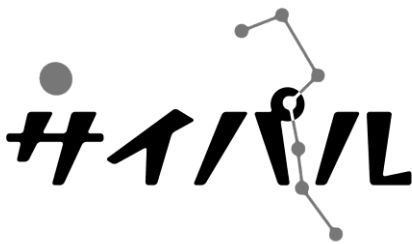
科学館職員 計 22 名
(令和 8 年 4 月 1 日現在)

I 旭川市科学館の概要

1 考え方

現在、気候変動に伴う災害の増加や人為的な要因も含む生物多様性の損失など、私たちの生活と深く関係している様々な課題が、地球規模で発生しています。そうした課題に対応していくためには、科学の分野の枠を超えた、柔軟な発想をもつ人材の育成が必要とされています。

旭川市科学館「サイパル」では、様々な科学に関する情報を伝え、科学への関心や理解を深めるため、「ふしぎからはじまる<科学>との出会い」をテーマに、物理学、化学、生物学、地学など、あらゆる自然科学分野を対象とした多彩な学習普及活動を進めています。



旭川市科学館の愛称「サイパル」の由来

「サイパル」とは SCIENCE（科学）と PAL（仲間、友達）を組み合わせた言葉です。

また、様々な科学の彩りに出会える絵の具を散りばめたサイエンスパレットの略です。

新しい科学館の建設地の北彩都（きたさいと）あさひかわの「彩」もイメージしています。

科学に親しみ、科学を通して交流の輪が広がってほしい。そんな願いが込められています。



旭川市科学館
マスコットキャラクター
「コロック・クル」

地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに、古くから欧米では「学問の神様」として扱われアイヌの人たちには「森の守り神」として敬愛されたフクロウを組み合わせた架空のキャラクターです。

コロック・クルは、アイヌの伝承に登場するコロポックルからネーミングされました。

2 沿革

昭和 38 年 11 月 3 日	旭川市青少年科学館が旭川市常磐公園に開館
平成 17 年 1 月 30 日	新築移転のため閉館
平成 17 年 7 月 4 日	博物館登録原簿に登録（登録記号番号：北博登録 53 号）
平成 17 年 7 月 23 日	旭川市科学館「サイパル」として現在地に移転、開館
平成 17 年 8 月 13 日	入館者 10 万人を達成
平成 18 年 5 月 4 日	入館者 50 万人を達成
平成 19 年 8 月 10 日	入館者 100 万人を達成
平成 23 年 3 月 13 日	入館者 200 万人を達成
平成 26 年 11 月 9 日	入館者 300 万人を達成
平成 27 年 7 月 23 日	新館開館 10 周年
平成 30 年 7 月 15 日	入館者 400 万人を達成
令和 2 年 7 月 23 日	新館開館 15 周年
令和 3 年 2 月 25 日	旭川市科学館施設整備基金「サイパル☆みらい基金」設置
令和 5 年 10 月 28 日	入館者 500 万人を達成
令和 7 年 7 月 23 日	新館開館 20 周年



3 施設概要

旭川市科学館は「北彩都あさひかわ」シビックコア地区に位置し、神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれ、のびのびとした空間で自然科学を学ぶことが大きな特徴です。

館内では多くの方が利用する常設展示室や特別展示室、プラネタリウムなどを1階に、実験実習室などを2階に、大小2基の天文台を4階に配置し、子供から高齢者、ハンディキャップを持つ方々など、誰もが使いやすいユニバーサルデザインの考え方を取り入れています。

また、シンボル展示「水竜」や、国際家具デザインフェア旭川コンペティション入選作品など優れた地場木製家具の「旭川家具」を配置し、特色ある空間づくりにも配慮しています。

敷地内には、鳥や昆虫などを観察できる野外自然観察空間を設けているほか、屋外に雪室棟を設置し、冬期の駐車場の排雪を利用して夏期の消費電力を抑える雪冷房システムを導入するなど、環境に配慮した取組を行っています。

・所在地	旭川市宮前1条3丁目3番32号
・敷地面積	27,099.65 m ²
・延床面積	5,799.60 m ² (車庫棟・雪室棟を除く)
・構造	鉄筋コンクリート造, 一部プレストレストコンクリート造, 鉄骨造4階建
・総事業費	48億1,432万3千円 (用地購入費, 一部外構工事等除く)

各室の内訳

1階	常設展示室 (1,600 m ²)	[4 (1) 常設展示室] 参照 (P4)
	特別展示室 (187 m ²)	展示会やイベントを開催
	プラネタリウム (570 m ²)	[4 (2) プラネタリウム] 参照 (P5)
	学習・研修室 (156 m ²)	126席、各種視聴覚機器
	インフォメーション	観覧受付
	エントランスホール	シンボル展示、休憩コーナー等
	ミュージアムショップ	科学グッズ等の販売
	事務室ほか	—
2階	パソコン実習室	パソコンを使った学習など
	電子工作室	電子機械工作などの実習
	理科実験室・準備室	物理・化学などの実験実習
	木工模型工作室・作業・準備室	木工・模型工作実習など
	レファレンスルーム・準備室	[4 (4) レファレンスルーム] 参照 (P6)
	休憩コーナー	南東・北西の角に設置 (2か所)
	空調機械室、熱源機械室等	※一般開放スペースなし
3階	発電機室	※一般開放スペースなし
4階	天文台 (90 m ²)	[4 (3) 天文台] 参照 (P5)
屋外	駐車場・駐輪場	一般車両76台、大型バス6台 身障者用駐車場5台、自転車100台
	エントランス広場、円環広場	休憩・昼食場所、野外での実験実習スペース
	野外自然観察空間 (約5,000 m ²)	在来種の雑木林、トンボ池、2基の野外展示など

4 主要設備等

(1) 常設展示室

北国・地球・宇宙をテーマとした全 47 点の体験型の展示物、科学に関する 2D・3D映像を上映するサイエンスシアターを設置。

		テーマ	展 示 名			
展 示 物		北国 (全 8 点)	■氷河期と海面変位 ■ナダレンジャー ■水滴のダンス	■虫の目から見た自然 ■北国の天気 ■低温実験室	■雪の結晶 ■旭川ズームイン!	
		地球 (全 33 点)	■身体ズームイン ■人体スキャン ■風をおこそう ■手さぐりの通路 ■ジャンボシャボン ■影で遊ぼう ■スピードガン ■火山をつくろう ■人類の進化 ■大陸移動 ■三つも錯覚が含まれるふしぎな輪 ■いまの地球とみらいの地球 ■錯覚いろいろコーナー ■10TOWN (イチマルタウン)	■内臓パズル ■消化器のはたらき ■ボールコースター ■錯覚の部屋 ■空中スクリーン ■バーチャルフライト (休止中) ■ボディーアタック ■雲をつくろう ■地球環境問題クイズ ■温暖化から地球を救え	■呼吸のしくみ ■生命の誕生 ■電磁サークル ■光のサッカー ■光の三原色 ■地震体験 ■対流をみよう! ■燃料電池のしくみ ■自然のめぐみ	
		宇宙 (全 6 点)	■ムーンジャンプ ■星の回転運動	■宇宙ゴマ ■クイズスペース 1	■月の満ち欠け ■宇宙飛行士になろう	
サイ エ ン ス シ ア タ ー	3 D	北国	■雪の結晶	■大雪山の成り立ち	■エゾモモンガ	■北国の四季
		地球	■巨大台風	■オーロラその神秘に迫る	■氷河と地球温暖化	
		宇宙	■宇宙ステーション ■毛利さんと飛ぶ宇宙から見た水の惑星	■暗黒の天体ブラックホール		
	2 D	北国	■石狩川夢の旅人			
		地球	■謎の深海底			
		宇宙	■テラフォーミング ~地球から火星へ~	■宇宙で生きる人類		



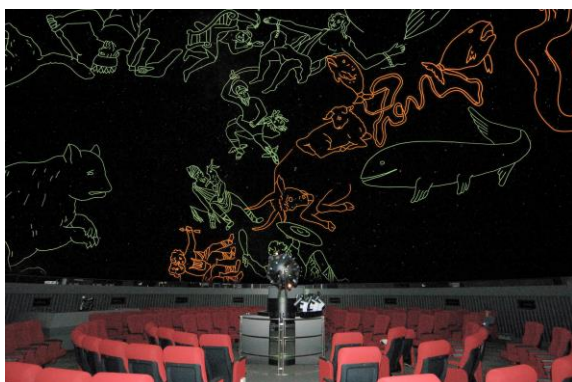
常設展示室



錯覚いろいろコーナー

(2) プラネタリウム

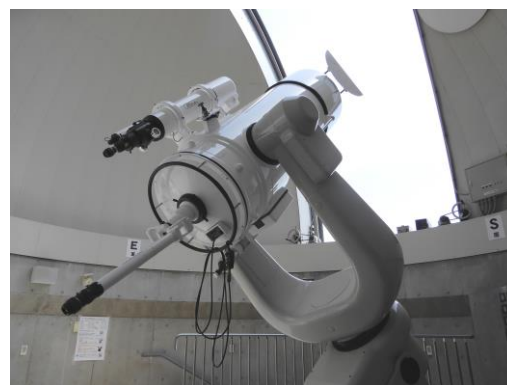
面積	670 m ² (客室 232 m ² 、ロビー228 m ² 、プロジェクションギャラリー112 m ² 、その他 98 m ²)
ドーム	直径 18m、水平型・平面床 170 席 (うち固定席 73 席、一部回転席 64 席、2 人掛けシート 10 席、車椅子スペース用移動席 23 席)
投影機	コンピュータ制御、光源・光ファイバー式スターマスターZMP (カール・ツァイス社製)、全天周ドーム映像装置など付設
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・生解説によるマニュアル投影 ・国内初のコンピュータ制御式カール・ツァイス社製投影機 ※導入当時 ・同心円配列の座席としては、国内初の回転可動式座席採用 (一部)



スターマスターZMP (カール・ツァイス社製)

(3) 天文台

位置	北緯 43 度 45 分 23 秒 東経 142 度 22 分 13 秒 標高 143m
面積	173 m ² (大天文台 50 m ² 、小天文台 19 m ² 、準備室 20 m ² 、その他 84 m ²)
大天文台	ドーム直径 8m、口径 65 cm カセグレン式反射望遠鏡 (三鷹光器製) 及び付属望遠鏡 2 基設置、バリアフリー接眼装置付設、コンピュータコントロール方式
小天文台	ドーム直径 5m、口径 20 cm 屈折望遠鏡 (三鷹光器製) 及び太陽ビデオ撮影機能付付属望遠鏡 2 基設置、太陽投影板・太陽用 H α フィルター、バリアフリー接眼装置付設、コンピュータコントロール方式
観測デッキ	口径 10 cm の移動式天体望遠鏡や双眼鏡を使って広範囲の星空を観察



天文台設備

(4) レファレンスルーム

設置・使用目的	各科学分野に関する自習スペースとして開放するとともに、生物・地学分野の観察・実習活動の場として活用
備付け備品類	走査電子顕微鏡(係員が立会で使用)、双眼顕微鏡、その他各種観察・実験器具
備付け資料など	科学関係図書・DVD等、植物・昆虫・鉱物標本、動物・野鳥・昆虫・植物の写真ファイル、昆虫などの生体ほか

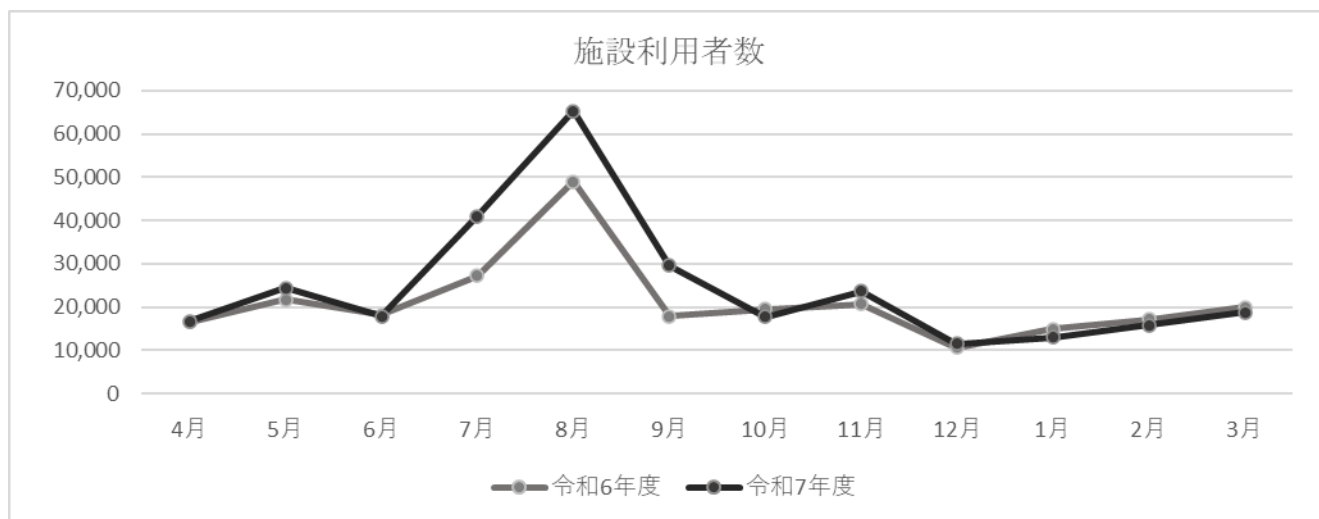
5 利用状況

(1) 施設利用者数 (令和7年度)

(単位：人)

内訳 月	常設展示室	プラネタリウム	天文台	レファレンス ルーム	事業活動等 参加者	その他	合計	令和6年度
4月	7,428	3,849	938	1,643	2,692	167	16,717	16,525
5月	10,388	4,285	1,660	2,180	5,825	-	24,338	21,661
6月	6,916	3,304	970	1,197	5,421	62	17,870	18,153
7月	15,781	6,964	948	2,725	14,579	-	40,997	27,177
8月	22,653	9,782	1,004	4,038	27,749	-	65,226	48,908
9月	9,753	4,517	425	1,462	13,391	-	29,548	17,918
10月	7,375	3,739	454	1,548	4,469	84	17,669	19,464
11月	8,412	4,216	600	1,731	8,631	-	23,590	20,673
12月	3,929	2,706	382	669	3,498	375	11,559	10,663
1月	4,936	2,300	397	1,103	3,162	1,021	12,919	14,864
2月	4,800	2,156	472	1,411	6,127	825	15,791	17,164
3月	8,300	3,684	985	2,109	3,675	34	18,787	19,998
合計	110,671	51,502	9,235	21,816	99,219	2,568	295,011	253,168

※日平均入館者数 958人/日 (開館日数：308日)



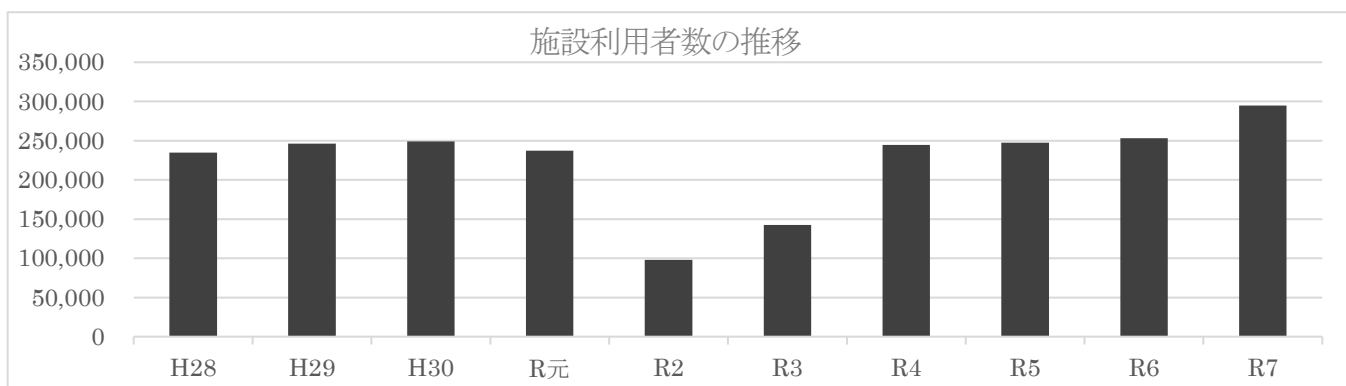
(2) 施設利用者数の推移

(単位：人)

内訳 年度	常設展示室	プラネタリウム	天文台	レファレンス ルーム	事業活動 ・その他	合計	備考
H28	100,312	46,873	13,350	17,568	56,555	234,658	6月～9月無休開館
H29	100,421	38,131	12,877	20,283	74,425	246,137	〃
H30	100,536	38,582	12,316	21,112	76,441	248,987	〃
R元	89,232	34,099	13,074	20,974	80,026	237,405	7/23～9/1 無休開館
R2	45,552	20,438	7,916	9,076	14,901	97,883	※1
R3	56,492	28,278	8,756	11,480	37,360	142,366	※2
R4	92,393	43,033	13,259	15,620	80,236	244,541	7/20～9/4 無休開館
R5	98,079	50,423	14,199	19,344	65,492	247,537	7/19～8/20 無休開館
R6	94,012	46,541	12,474	19,559	80,582	253,168	7/23～8/18 無休開館
R7	110,671	51,502	9,235	21,816	101,787	295,011	7/8～8/28 無休開館

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/20～5/24 臨時休館

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため5/18～6/20、8/20～9/29 臨時休館



II 学習普及活動

1 展示事業

(1) 常設展示利用者数

(単位：人)

区分 月	個人				団体				合計
	大人	高校生	小人	小計	大人	高校生	小人	小計	
4月	3,718	90	3,172	6,980	131	-	317	448	7,428
5月	4,858	89	3,837	8,784	218	-	1,386	1,604	10,388
6月	2,854	46	2,215	5,115	464	1	1,336	1,801	6,916
7月	6,781	116	5,705	12,602	594	-	2,585	3,179	15,781
8月	11,444	268	9,838	21,550	391	-	712	1,103	22,653
9月	4,576	78	3,209	7,863	386	-	1,504	1,890	9,753
10月	3,594	57	2,631	6,282	320	-	773	1,093	7,375
11月	4,529	83	3,264	7,876	160	-	376	536	8,412
12月	1,838	43	1,450	3,331	159	-	439	598	3,929
1月	2,354	110	1,921	4,385	157	21	373	551	4,936
2月	2,531	42	1,954	4,527	85	20	168	273	4,800
3月	4,102	151	3,525	7,778	138	-	384	522	8,300
合計	53,179	1,173	42,721	97,073	3,203	42	10,353	13,598	110,671

※令和7年度集計よりシステムの仕様変更に伴い、観覧料免除者は大人区分に集計している

(2) 特別展 「特撮のDNA ゴジラ、旭川上陸」

【開催概要】

旭川市科学館の開館20周年を記念して、空想上の世界を特殊な技法等を使って撮影し、現実のような映像を作製する技術「特撮」がどのようにつくられてきたのかを、実際に撮影に使われてきた「スーツ」や「ミニチュア」、本来なら一部の制作スタッフしか目にすることのできない「デザイン画」や「絵コンテ」といった貴重な資料から学び、また、映像技術や模型製作といった物作りのノウハウを体感する特別展を開催した。

- ・主 催 企画展開催実行委員会
(旭川市教育委員会、サイエンスボランティア旭川、旭川市小学校長会、旭川市中学校長会)
- ・開催期間：令和7年7月11日（金）～9月23日（日）
- ・入場者数 46,165人

実施事業	参加者数	開催日
特撮のDNA ゴジラ、旭川上陸 展示室	25,050人	7/11～9/23
ゴジラでポン	6,850人	7/11～9/23
ワークショップ	14,265人	—
クラフトでゴジラ	704人	7/12～9/23
スマホで特撮	5,379人	7/13～9/21
すな絵でゴジラ	154人	7/29、8/12、9/23
ゴジラでプラ板	96人	8/5、8/19
ゴジラ拓	7,932人	7/26～9/23

2 実験実習事業

(1) 講演・講座

ア 市民科学講座「サイエンス・セミナー」

	講師	内 容	参加者数	開催日
第1回	小林快次 旭川市科学館顧問 北海道大学総合博物館教授	恐竜ハカセのトークライブ	114人	11/22
第2回	渡部潤一 旭川市科学館顧問 国立天文台特任(上席)教授	渡部潤一教授講演会 「宇宙の放浪者—見えてきた恒星間天体—」	127人	2/1

イ 野鳥講演会

	講師	内 容	参加者数	開催日
第1回	中村真樹子 札幌カラス研究会代表	知っているようで知らないカラスの話	96人	4/6

(2) 実験実習・体験講座

ア 科学館クラブ

	クラブ名	内 容	対 象	参加者数	開 催 日
前 期	理科	実験、工作、観察	小3、小4	107人	5月～7月の 木・土曜日(4回×2組)
	いきもの 地球	生物の捕獲や観察の体験を通して 生態系や地球環境について学ぶ	小4～小6	57人	5月～7月の 土・日曜日(4回×2組)
	木工 クラフト	木工品の設計から加工までの一連 の作業を学び、旭川家具に触れる	小5～中学生	24人	5月～7月の 土曜日(5回)
	電子工作	電子工作と電気通信の体験	小4～小6	42人	5月～7月の 土曜日(5回)
	パソコン	教育用プログラミング言語を使って、 プログラミングの考え方を学ぶ	小5、小6	22人	5月～6月の 土曜日(5回)
	実験	実験、工作、観察	小5、小6	57人	6月～7月の 土曜日(4回)
後 期	いきもの 地球	生物の捕獲や観察の体験を通して 生態系や地球環境について学ぶ	小4～小6	45人	10月～12月の 土・日曜日(4回×2組)
	理科	実験、工作、観察	小3、小4	53人	10月～12月の 土曜日(4回)
	木工 クラフト	木工品の設計から加工までの一連 の作業を学び、旭川家具に触れる	小5～中学生	27人	11月～12月の 土曜日(5回)
	電子工作	電子工作と電気通信の体験	小4～小6	46人	10月～12月の 土曜日(5回)
	パソコン	教育用プログラミング言語を使って、 プログラミングの考え方を学ぶ	小5、小6	8人	10月～11月の 土曜日(5回)
	実験	実験、工作、観察	小5、小6	31人	11月～12月の 土曜日(4回)
通 年	プログラ ミング	教育用プログラミング言語を使って プログラミングの考え方を学ぶ	小4～小6	50人	6月～2月の 土曜日(15回)
	星・宇宙	季節の星座や一等星、惑星の解説と 望遠鏡による観測	小3～中学生 の親子	144人	6月～3月の 土・日・祝日(9回)
冬 期	理科	実験、工作、観察	小3、小4	41人	1月～3月の 土曜日(4回)
	実験	実験、工作、観察	小5、小6	11人	1月～3月の 土曜日(4回)

イ 親子でチャレンジ! わくわく実験室

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
親子で協力して取り組む実験実習や製作 活動を体験	小1、小2と保護者	118人	5月～6月の 土曜日(3回)
		116人	10月～11月の 土曜日(3回)

ウ こども科学博士

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
大型怪獣消しゴムをつくろう	小1～小3 と保護者	26 人	7/26
大型怪獣消しゴムをつくろう	小1～小3 と保護者	26 人	8/2
ふりこのせいしつ	小1～小3 と保護者	22 人	12/27
くうきのせいしつ	小1～小3 と保護者	20 人	1/10

エ ちょっと大人の科学実験

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
アナログカメラをつくろう	中学生以上	2 人	10/4
科学の力でサバイバル	中学生以上	10 人	3/28

オ パソコン基礎講座

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
文字入力マスター編	成人のパソコン初心者	2 人	4/26
インターネット基礎編		4 人	7/5
はじめての Word 講座		18 人	9/6～9/13
はじめての Excel 講座		16 人	2/7～2/14

カ 親子プログラミング体験

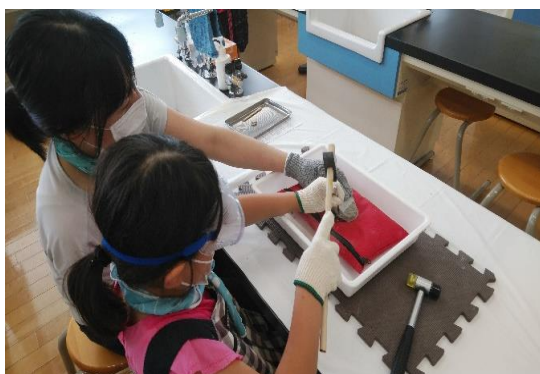
内 容	対 象	参加者数	開 催 日
プログラミングアプリ「スクラッチ」を使用し親子でプログラミングの基礎を学ぶ	小3・小4 と保護者	37 人	10/4、10/11
プログラミングアプリ「スクラッチ」を使用し親子でプログラミングの基礎を学ぶ	小3・小4 と保護者	43 人	1/10、1/17

キ 地学体験学習

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
岩石の分類と観察	小学生以上	18 人	4/12
砂から見える世界	小学生以上	10 人	5/17
アンモナイト化石の中を調べよう	小学生以上	64 人	7/30、8/6
アンモナイトクリーニング体験	小学生以上 (小3以下は保護者同伴)	38 人	8/1、8/8
マグマをつくろう	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	42 人	9/20
誕生石の標本作りと鉱物の色	小学生以上	107 人	12/7
ビスマス結晶づくり	小学生以上	80 人	1/10～1/11

ク 生きもの観察

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
特定外来生物ウチダザリガニ	小学生以上 (小3以下は保護者同伴)	12 人	4/5
スルメイカ		32 人	10/13



アンモナイトクリーニング体験



ビスマス結晶づくり



マグマをつくろう



生きもの観察「スルメイカ」

(3) ものづくり教室

内 容		対 象	参加者数	開 催 日
市民木工教室	木の子ども椅子づくり	高校生以上	2人	10/4~5
	サイドテーブルづくり		4人	3/7~8
親子木工教室	とんとん編	小1、小2と保護者	20人	9/6
			22人	12/27
	ぎこぎこ編	小3、小4と保護者	8人	9/13
			24人	1/10
糸のこ体験工作		どなたでも	1,281人	通年
ふらっと工作		どなたでも	46人	10/18
		どなたでも	93人	11/23
		どなたでも	52人	12/7
		どなたでも	42人	1/25
		どなたでも	66人	2/23

	いろいろなスライムづくり	どなたでも	115人	3/20
	老眼鏡と虫めがねでかんたん望遠鏡作り	小学生以上	16人	3/21
テック・ラボ	オープンラボ（木工模型工作室）	小学生以上	3,916人	通年
	オープンラボ（電子工作室）	小学生以上	3,783人	通年
	キッズ電子工作	小4～中学生	34人	7/31、8/7、12/27
	親子の電子工作	小1～3	90人	6/21、7/5、10/11、11/8、11/22
	趣味の電子工作	中学生以上	4人	1/31
	たいけんラボ	小学生以上	149人	通年

(4) 野外活動

内 容		対 象	参加者数	開 催 日
地学系	河原で石拾い	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	23人	5/31
	地学体験バスツアー 「神居古潭で『古いモノ』を探そう」	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	14人	6/1
	絶景！川登りと変成岩を見よう（上級編）	中学生以上	7人	8/2
	岡田弘名誉館長と行く！地学体験バスツアー 「火砕流から見た『あさひかわ』」	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	15人	10/12
	旭川層の観察	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	12人	10/26
自然系	探鳥会「神楽岡公園の野鳥」	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	35人	4/26
	トンボ池の観察	小学生と保護者	21人	6/15
	水辺の生きもの観察	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	20人	7/12
	特定外来生物ウチダザリガニを捕まえよう	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	93人	6/28、7/19、8/30
	光に集まる昆虫	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	45人	7/20、8/17
	シロザケの産卵行動	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	12人	10/18
	冬の自然観察会	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	14人	1/24
	雪崩のメカニズム	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	13人	2/7



水辺の生きもの観察



特定外来生物ウチダザリガニを捕まえよう

3 科学イベント・行事

(1) 科学イベント

ア サイエンススタジオ

内 容	参 加 者 数	開 催 日
科学を楽しむ！ワクワク実験ショー&かんたん工作	3,390 人	4/26～5/6
かんたん怪獣工作	1,383 人	8/9～8/17
かんたん怪獣工作2	72 人	9/23
空気であそぼう	281 人	2/11

イ サタデーサイエンスショー

内 容	参 加 者 数	開 催 日
月毎にテーマを変え公開実験ショーを実施	4,767 人	土曜日(計51回)

ウ 低温実験

内 容	参 加 者 数	開 催 日
氷点下 30℃の低温実験室で、過冷却水やダイヤモンドダストの観察実験等を実施	3,546 人	通年

エ 科学館まつり

内 容	参 加 者 数	開 催 日
常設展示室・プラネタリウム無料開放、各種無料体験ブースを出展 (参加人数 3,037 人は無料体験実施分)	3,037 人	11/3

オ ミニミニ展示

内 容	参 加 人 数	開 催 日
シロザケ生態展示	3,487 人	10/22～12/21

カ 科学館 de SDGs

内 容	参 加 者 数	開 催 日
常設展示「いまの地球とみらいの地球」のデジタル地球儀を用いて、環境問題をはじめとした地球規模の様々な課題から SDGs について説明する演示を実施	52 人	4/2～7/2 (指定された日)

(2) 各種行事

ア 科学の夢の図画コンクール

科学的な探求心と想像力を伸ばし、科学に対する親近感を助長させることを目的とした、旭川市内の小中学生を対象とした科学の夢を描いた図画作品のコンテスト。

【応募者数】 小学生 11 人、中学生 84 人

【優秀作品展示会】 10/18～10/26 【来場者数】 658 人

【特別賞受賞者表彰式】 10/26 【出席者数】 52 人

イ 「宇宙の日」全国小・中学生作文・絵画コンテスト

小・中学生に宇宙や天文について夢と興味を持ってもらうことを目的とした、「宇宙の日」記念行事として開催される作文・絵画作品のコンテスト。

【応募者数】

・作文の部 小学生 1 人 中学生 応募なし

・絵画の部 小学生 4 人、中学生 13 人

【優秀作品展示会】 10/18～10/26 【来場者数】 658 人

【表彰式】 10/26 【出席者数】 30 人

ウ 科学技術週間行事（「一家に1枚」ポスターの配布）

科学技術の理解促進を目的とした文部科学省監修による学習資料『量子と量子技術』を自由に持ち帰ってもらえるよう、4月15日(火)から館内に配置。

エ 科学技術映像祭入選作品上映会

科学技術映像祭入選作品の一部を、開館時間中にエントランスホールにてリピート上映。

【期 間】 土日祝および長期休暇期間（休館日、7/11～9/23 は特別展のため休止）

【上 映 作 品】

- ・NHKスペシャル 映像記録 関東大震災 帝都壊滅の三日間 前編
- ・ガリレオX 地衣類の世界 身近な謎多き生命体
- ・居間からサイエンス ～地球誕生の謎に迫る！地下 2600 キロの大発見
- ・ダーウィンが来た！ 生きものの不思議を解き明かせ！ 子ども研究者スペシャル
- ・テレメンタリー2023 プラスチックの行方～水の国からの警鐘～
- ・所さんの目がテン！かがくの里 フクロウプロジェクト
- ・フロンティア 人間の知能は作れるか？ ～AI 究極の知能への挑戦～
- ・THE MAKING (326) 通販の荷物がとどくまで
- ・日本のチカラ 口福の献立 ～お腹と心を満たす嚙下食～
- ・目撃者f リンゴ飴のこえ ～難聴って、なんなん？～
- ・常呂川下流域の古代文化を解く
- ・学校で使える理科実験 絶対に入らない瓶の中に松ぼっくりを閉じ込める方法！松ぼっくりのびん詰め作りの方法と理由を解説しました。

- ・ガリレオX 自己組織化 無秩序な世界から秩序を生み出す不思議なプロセス
- ・なぜ水星へ行くのは最も難しいのか？ 全惑星へのアクセス時間比較

オ 共催・協力事業

内 容	共 催 ・ 協 力 先	参加者数	開 催 日
わくわく体験フェス in 科学館	旭川ウェルビーイングコンソーシアム	1,167人	6/15
花フェスタ 2025	花フェスタ実行委員会	1,982人	6/18～22
みどりの回廊展	旭川自然共生ネットワーク	239人	6/28、29
夢の高専展覧会	旭川工業高等専門学校	628人	10/4
測量・ドローン体験学習	上川調査設計協会道北若力会	391人	10/12
私たちの身の回りの環境地図作品展	環境地図教育研究会	599人	11/15～23
夢の高専展覧会	旭川工業高等専門学校	992人	12/20
じぶんのマップ作成体験ワークショップ	行政改革課	402人	2/22
大雪山カムイミントラ ジオフェスティバル	大雪山カムイミントラジオパーク構想推協議会	4,046人	2/22
高専グローバルキャンプ2025 in 旭川	旭川工業高等専門学校	24人	3/3

4 天文普及事業

(1) プラネタリウム事業

天文知識の啓発・普及を目的に、旭川の空に見える季節の星座を紹介する一般番組を中心に、学習番組投影、幼児番組投影、イベント的な特別投影を展開している。

ア 観覧者数

(単位:人)

区分 月	令和7年度					前年度	団体観覧	
	大人	高校生	小人	その他	小計		団体数	観覧者数
4月	1,851	40	1,726	232	3,849	3,401	12	305
5月	2,155	39	1,784	307	4,285	4,000	10	301
6月	1,361	29	1,528	386	3,304	3,337	21	937
7月	3,510	60	3,394	—	6,964	5,594	48	1,537
8月	5,377	115	4,290	—	9,782	8,435	23	574
9月	2,486	41	1,990	—	4,517	3,348	36	983
10月	2,097	36	1,606	—	3,739	3,016	25	717
11月	2,499	42	1,675	—	4,216	4,215	9	274
12月	1,241	29	1,436	—	2,706	2,397	18	961
1月	1,290	32	978	—	2,300	2,344	13	345
2月	1,335	37	784	—	2,156	2,283	5	91
3月	2,032	64	1,588	—	3,684	4,171	12	296
合計	27,234	564	22,779	925	51,502	46,541	232	7,321

※「その他」は観覧料免除者(手帳保有者若しくは要介護者とその介助者、引率者等)

※団体観覧は観覧者の内数

※7月からはシステムの仕様変更に伴い「その他」と「大人」を統合している

イ 投影内容（アの内数）

（ア）プラネタリウム一般番組

旭川の星空を中心に約 40 分の星座解説を行う。投影担当者がそれぞれ番組を自作し、生解説による投影を行っている。番組は季節の星座のほか、テーマに沿った天文現象の解説などを行う。

番組タイトル	テ ー マ	投影回数	観覧者数	投影期間
地球兄弟(太陽系の動き)	地球と惑星軌道について	50 回	886 人	4/1～30
今日の星空と投影者のお好み解説	春の星座、火星	53 回	1,034 人	5/1～31
	春の星座	47 回	653 人	6/1～30
	夏の大三角、ペルセウス座流星群	61 回	1,408 人	7/1～31
	夏の星、皆既月食	60 回	2,537 人	8/1～31
	夏～秋の星、土星の環	50 回	1,120 人	9/1～30
	秋の星、土星の環	53 回	856 人	10/1～31
	秋～冬の星	31 回	883 人	11/1～30
	冬の星々、しぶんぎ座流星群	46 回	429 人	12/1～31
	冬のダイヤモンド、木星	45 回	520 人	1/1～31
	冬のダイヤモンド、皆既月食	45 回	491 人	2/1～28
	冬から春の星座	46 回	896 人	3/1～31

（イ）プラネタリウム特別投影

a ドームシアター（全天周デジタル映像投影装置を利用した上映）

番組タイトル	内 容	投影回数	観覧者数
銀河鉄道 999 赤い星ベテルギウスいのちの輝き	ベテルギウスの超新星爆発に巻き込まれる 999 号。無事に脱出できるか。	159 回	5,728 人
世界遺産 宇宙への祈り	謎に満ちた世界遺産を、没入感たっぷりの全天周ドーム映像で巡ります。	144 回	4,241 人
はじめてのプラネタリウム それいけアンパンマン ～星の色と空の色～	はじめてプラネタリウムを見る低年齢層向けの作品。星の色や空の色についてのおはなし。	69 回	5,372 人

b プラネタリウム幼児番組

幼稚園・保育所等の未就学児団体を主な対象に、物語を多く取り入れた 20 分前後の番組を製作・投影している。

番組タイトル	テ ー マ	投影回数	観覧者数	投影期間
わんわんわん	冬から春の星座、おおいぬ座、こいぬ座	46 回	1,359 人	4/1～26
やまねこのかくれんぼ	やまねこ座を探す話	54 回	3,180 人	4/27～5/31 8/8～8/31 11/3
みなみのそらのとりたち	鳥の星座達のお話し	94 回	4,223 人	5/3～31 8/8～31 11/3 3/1～31
よぞらのどうぶつえん	春の星座、動物星座	45 回	1,377 人	6/1～6/29
なつのほしとたなばた	夏の星座、七夕伝説	71 回	4,414 人	7/1～8/7

かぐやひめ	秋の星座、かぐやひめの話	49回	1,708人	9/2~28
ほしぞらえいご☆せいざのやかたのハロウィン	秋の星座、惑星の話	52回	1,842人	10/1~30
クリスマスのふしぎ	冬の星座、クリスマスの話	71回	2,365人	11/1~12/25
ふゆのきょうだいぼし	冬の星座、ふたご座の話	96回	1,977人	12/26~2/28

c プラネタリウム学習番組

時間や天候などの制約が多い実天観測に代えて、プラネタリウムで天体の動きを見せながら解説することで、天文・宇宙に対する理解を促す。

番組内容	対象	投影回数	観覧者数
かげと太陽（太陽の動きと影のでき方）	小学3年生	1回	13人
月と季節の星座（月の形と動き、季節の星座）	小学4年生	9回	434人
月と太陽（月の満ち欠け）	小学6年生	9回	413人
地球の動きと星の動き（自転・公転と天体の見かけの動き）	中学生	3回	32人
太陽系と宇宙の構造（太陽系の惑星、銀河系など）		5回	283人

d プラネタリウム特別番組

番組タイトル	内容	観覧者数	投影日
夏のプラ寝たリウム	6月28日の日の入りから翌日の日の出まで星空を回しながら環境音やBGMを流す特別番組	43人	6/28
プラ寝たリウム	11月23日の日の入りから翌日の日の出まで星空を回しながら環境音やBGMを流す特別番組	108人	11/23
今日の星空 クリスマスバージョン	今日の星空解説と、クリスマスにちなんだ天文情報やエピソードを紹介する番組	118人	12/20、21
今日の星空とプラネタリウムでスマホ撮り	今日の星空解説と、プラネタリウムの星空を撮影できる番組	111人	1/2
今日の星空 バレンタインバージョン	今日の星空解説と、バレンタインにちなんだ天文情報やエピソードを紹介する番組	77人	2/14

ウ プラネタリウムの学校授業での活用

内容	参加者数	開催日
学校指導要領に沿った内容の「学習番組」を作成・投影	371人	11/27、12/17、 12/18~19、 12/23

(2) 天文台事業

ア 天文台見学

内 容	参加者数	開 催 日
開館時の天文台公開、昼間に見える恒星、惑星、衛星（月）の観測	9,235人	4月～3月

イ 星の教室

内 容	参加者数	開 催 日
一度は見てみたい天文現象～彗星・日食・オーロラについて～	28人	5/25
バイオシグネチャー：惑星からの光に刻まれた生命のサイン	32人	7/27
天の川銀河中心の超巨大ブラックホール「いて座A★」 ～ほとんどの銀河中心には超巨大BHが存在～	42人	9/21
「冬の星空を楽しもう！」～寒い冬だからこそ楽しめる、冬の星空	33人	11/30
今年の天文現象 2026	41人	1/25
重力波で解き明かされる宇宙誕生の謎 ～インフレーションやビックバンなど宇宙の始まりに迫る重力波とは～	49人	3/29

ウ 親子天文博士

内 容	参加者数	開 催 日
月の観測	16人	6/7

エ 天体を見る会

内 容	参加者数	開 催 日
春の星と火星・木星・月の観測	95人	4/5、5/10
春の星と火星・月の観測	36人	6/1
春・夏の星と月の観測	46人	7/5
夏の星と月の観測	44人	8/3
秋の星と土星・海王星の観測	58人	9/27
中秋の名月と土星・海王星の観測	41人	10/6
秋の星と土星・天王星・海王星の観測	30人	10/26
秋・冬の星と土星・天王星・海王星の観測	35人	11/22
冬の星と木星・土星・天王星・海王星の観測	92人	12/21、1/10
冬の星と木星・天王星・月の観測	30人	2/8
特別開催「皆既月食の観測」	53人	3/3
冬の星と木星・月の観測	36人	3/8

オ 出張天文教室

内 容	参加者数	開 催 日
キャンドルナイト天体観測 (CoCoDe 主催)	50人	6/14
江丹別公民館 市民天体観測	12人	9/13
東鷹栖公民館 天文講座「冬の星座とアイヌの星」	8人	1/9

カ 夏・冬休み天文教室

内 容	参加者数	開 催 日
天体望遠鏡の製作（夏休み）	10 人	7/31
天体望遠鏡の製作（冬休み）	10 人	12/26

キ 天体を撮る会

内 容	参加者数	開 催 日
月や惑星の撮影	12 人	9/4～7

ク その他の天文関係イベント

内 容	参加者数	開 催 日
旭川市科学館・旭川天文同好会 共同写真展	645 人	11/26～12/7
宇宙を感じる彫刻展 PR 展示	1,887 人	3/7～31

5 学校等連携・人材育成事業

(1) 学校等連携事業

ア 科学館体験学習

科学館利用団体の要望に応じ、サイエンスショーや理科実験・電子工作・木工工作・地学実習などのメニューを実施。

内 容	参加者数	開 催 日
「超低温の実験」、「科学マジック」、「スライム」、「万華鏡づくり」など	1,147 人	通年で実施

イ プラネタリウムの学校授業での活用（再掲）

学 校	参加者数	開 催 日
和寒町立和寒中学校	28 人	11/27
中富良野町立中富良野中学校	44 人	12/17
旭川市立永山中学校	167 人	12/18、19
旭川市立神楽中学校	132 人	12/23

ウ 巡回実験教室

団体からの要望に応じて職員が出向き、サイエンスショーや理科実験・工作などを行う。

内 容	参加者数	開 催 日
元素のふしぎな実験、無限の箱、科学マジック	144 人	原則として整理休館日 (6 回実施)

エ 学校授業・課外活動の受け入れ

学校名	内 容	参加者数	開 催 日
旭川市立東陽中学校	職場体験	6 人	9/22～24
北海道旭川商業高等学校	職場体験	6 人	10/15、16
北海道旭川工業高等学校	授業受け入れ	44 人	9/24

(2) 人材育成事業

ア 実習生の受入れ

博物館法施行規則第1条に基づき行われる学芸員の資格を得るために必要な博物館での実習を、旭川市博物館と一体的に実施。実習の一環でサイエンスショーの実演を行った。

実習生の受入人数：2人

実 習 日：8/22～8/24

内 容	参加者数	開 催 日
実習生の受入	6人	8/22～24
大学生のサイエンスショー	52人	8/24

6 ボランティア等との連携事業

科学のおもしろさや学ぶ楽しさを、子供たちに伝えたいという人たちが参加する団体「サイエンスボランティア旭川」や「科学館のアテンダント業務を行う委託業者」による、旭川市科学館の事業運営のサポート及び科学の普及活動。

(1) サイエンスボランティア旭川

ア 概要

(ア) 団 体 名 サイエンスボランティア旭川

(イ) 代 表 者 鈴木 絃一（令和7年度）

(ウ) 設立年月日 平成16年5月15日

(エ) 登録会員数 72名（うち事務局員6名） ※令和8年3月末日現在

イ 令和7年度従事者数（半日単位）

月	従事日数	延べ従事者数	月	従事日数	延べ従事者数
4月	25日	250人	10月	26日	268人
5月	26日	276人	11月	25日	273人
6月	24日	246人	12月	24日	248人
7月	29日	321人	1月	23日	231人
8月	30日	335人	2月	23日	230人
9月	24日	258人	3月	27日	252人
			合計	306日	3,188人

ウ 活動の内容

科学館の運営及び事業の支援	常設展示機器運営・サポート，展示案内・説明，レファレンスルーム管理ほか
自主事業の企画・実施	「日曜ワークショップ」，「大人の教室」，「学生の科学展」等の開催

エ 自主事業

内 容	参加者数	開 催 日
日曜ワークショップ	453 人	8/3、10、24、10/26、11/9、23、12/7、14、2/8、3/1(計10回)
G W簡単工作	243 人	5/5、5/6 (計2回)
春／夏／冬休みかんたん工作	330 人	7/29、8/5、12、19、9/23、3/29 (計6回)
夏休み特別ワークショップ	209 人	8/18
科学館まつり	233 人	11/3
大人の教室	26 人	6/12、12/4 (計2回)
出前ワークショップ	22 人	8/17
旭川学生の科学展 2025	2,000 人	1/11

※「出前ワークショップ」については、科学館利用者数として計上していない

オ 問合せ先

【サイエンスボランティア旭川事務局】

〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目 旭川市科学館内

TEL 0166-31-3016 FAX 0166-31-3310

ホームページ <http://asascience.blog.fc2.com/>

E-mail science_asahikawa@yahoo.co.jp

(2) アテンダント業務委託業者

ア 事業者名 ダイビ株式会社

イ 自主事業

内 容	参加者数	開 催 日
おはなしコロククル絵本の時間	42 人	4/19、5/17、6/21
オリガミをまわそう ほか	171 人	11/3
シーグラスで星座をつくろう	28 人	2/14
オリガミをまわそう	69 人	2/23
ゴムロケットをとばそう	42 人	3/7

Ⅲ その他の取組

1 調査研究活動

(1) 太陽黒点や惑星・月などの天体観測

内 容	回 数	観測日
太陽黒点	62	4/1～3/31
月食観測	2	9/8、3/3
星団観測	1	2/4
銀河観測	1	3/25
流星観測	2	8/12、8/13
星雲撮影	1	2/26
太陽撮影	1	2/5

(2) 野外自然観察空間の生態系調査（隔年実施）

（単位：種）

年度		2016年 (H28)	2018年 (H30)	2020年 (R2)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)
植物	植樹地	66	68	69	92		82	
	池周辺	40	56	28	25		25	
昆虫						30		90
小型哺乳類		2	0	0				

2 刊行物

(1) 旭川市科学館報（令和6年度版） 令和7年5月発行、全28頁

- ア 旭川市科学館の概要
- イ 学習普及活動の内容
- ウ 調査研究活動/情報提供活動など
- エ 旭川市科学館利用案内

(2) 旭川市科学館研究報告第21号／旭川市博物館研究報告第32号

令和8年3月発行、全34頁（うち科学館研究報告21頁）

- ア 石狩川水系忠別川におけるサクラマスとシロザケの産卵床数の2025年の記録
- イ 北における天文略表の作成にあたって
- ウ 旭川市科学館野外自然観察空間の生態系調査について

(3) 北における天文略表 令和8年1月発行、全23頁

- ア 日の出・入と薄明時間
- イ 月の出・入と月齢
- ウ 2026年の主な天文現象 ほか

3 広報活動

- (1) 広報誌「こうほう旭川市民あさひばし」での事業案内、利用案内等の掲載
- (2) 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等報道機関その他媒体への情報提供、取材対応
- (3) 科学館利用案内リーフレット、パンフレット等の配布
- (4) 各種事業のチラシを市内及び近郊の小中学校、公共施設等に配布
- (5) ホームページやSNSを通じて利用案内や事業情報等を発信
- (6) 「旭川市科学館報」の発行、配布
- (7) 館内に事業活動を紹介するコーナーの設置
- (8) YouTube サイパルチャンネルで動画を配信

		動画数	再生数
令和7年度	実験、工作、ワークショップ	91 番組	36,033 回
	常設展示室	4 番組	966 回
	特別展示、企画展示	2 番組	61 回
	プラネタリウム	24 番組	4,776 回
	講演	2 番組	84 回
	合計	123 番組	41,920 回

1日あたり平均視聴回数：115回 チャンネル登録者数：1,360人 平均視聴時間：1分50秒



テック・ラボ 公式X



YouTube サイパルチャンネル

4 旭川市科学館施設整備基金

- (1) 設置目的 旭川市科学館の展示施設の整備及び科学館事業に必要な経費の財源に充てるため
 (2) 設置年月日 令和3年2月25日
 (3) 根拠条例 旭川市科学館施設整備基金条例（令和3年旭川市条例第4号）
 (4) 残高等の推移 (単位：円)

年度	前年度末 現在高	新規寄附金	運用 利子	取崩額	年度末 現在高	取崩の用途
R2	—	14,000,000	10	0	14,000,010	
R3	14,000,010	1,833,410	9,100	12,350,696	3,491,824	常設展示整備（いまの地球とみらいの地球、錯覚いろいろコーナー）、テックラボ新設
R4	3,491,824	61,694,997	752	841,937	64,345,636	特別展開催費負担金、常設展示整備等
R5	64,345,636	5,525,625	12,880	39,715,549	30,168,592	常設展示設備（10TOWN、錯覚いろいろコーナー、VR展示、サイエンスシアター）、テックラボ
R6	30,168,592	6,749,130	17,996	148,920	36,786,816	錯覚展示整備
R7	36,786,816	5,923,418	90,397	6,897,020	35,903,611	プラネタリウム投影機LED化

- (5) 寄附件数の推移 (単位：件)

年度	ふるさと納税	直接寄附	募金箱※1	件数計
R2	—	1	—	1
R3	211	1	1	213
R4	225	1	1	227
R5	603	1	1	605
R6	578	1	1	580
R7	572	1	1	574

※1 件数確認不能のため年度で1件とした

IV 旭川市科学館利用案内

1 開館時間・休館日

- (1) 開館時間 午前9時30分から午後5時まで（観覧のための入館は午後4時30分まで）
 (2) 休館日
 【毎週月曜日】 当該日が祝日に当たるときは、休日を経過した最初の平日
 【年末年始】 12月30日から翌年1月4日まで
 【毎月末日】 土日祝日に当たるときは、その月末の平日

※施設利用者の動向及びイベントの開催予定を踏まえ、臨時開館日を別に設けている

2 観覧料

中学生以下の観覧料は無料。大人・高校生の観覧料は次のとおり。

(1) 1日または1回の料金

科学館		博物館	観覧料 (円)			
常設展示室 (1日)	プラネタリウム (1回)	常設展示室 (1日)	大人		高校生	
			個人	団体	個人	団体
●	—	—	410	320	280	210
—	●	—	330	260	220	170
●	●	—	520	410	350	280
●	—	●	530	430	350	280
—	●	●	470	370	310	240
●	●	●	760	620	510	400

※団体料金は、同じ料金区分の者が20名以上の場合に適用

※次に該当する者の観覧料を免除

- ア 身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者（介助対象者と同人数まで）
- イ 介護保険法に定める要介護者及びその介助者（介助対象者と同人数まで）
- ウ 児童生徒等を引率する教職員の方
- エ 団体見学申込書による一般団体引率者の方（1/10の人数まで）

※次に該当する者の観覧料を5割減額

- ア 旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各町在住の満70歳以上の方
- イ 旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生20名以上の団体

※特別展・企画展については、その都度実行委員会が定める額

(2) 年間パスポート

対象施設を何度でも観覧できるパスポートを販売している。（有効期間：利用開始日から1年間）

種類	対象施設	料金 (円/枚)		販売場所		
		大人	高校生	科学館	博物館	旭山動物園
科学館パスポート	常設展示室 プラネタリウム	1,040	660	●	●	—
博物館・科学館 共通パスポート	常設展示室 プラネタリウム 博物館（常設展示）	1,560	1,040	●	●	—
動物園・科学館 共通パスポート	常設展示室 プラネタリウム 旭山動物園	2,230	—	●	—	●



3 貸室事業

1階の「特別展示室」と「学習・研修室」を、科学館事業等で使用しないときに、学会や市民団体等の各種イベント会場として貸出している。

(1) 貸室使用料

使用区分		時間区分		全日
		午前	午後	
		9時30分～13時00分	13時30分～17時00分	9時30分～17時00分
特別展示室	全室	6,110円	6,110円	12,220円
	1/2室	3,050円	3,050円	6,110円
学習・研修室	全室	4,860円	4,860円	9,720円
	1/2室	2,430円	2,430円	4,860円

※使用時間に参加者受付等に要する時間を含む。

※準備、原状回復（会場設営、回復、搬出、搬入）に使用する場合は上記料金の5割に相当する額。

※冷房料（7/1～8/31）及び暖房料（11/1～翌年4/30）を別途徴収

※使用者の過半数が30歳未満で、かつ公共的・公益的な活動を目的として使用する場合は使用料の5割を減免

(2) 令和7年度の使用実績

使用区分		時間区分		全日
		午前	午後	
		9時30分～13時00分	13時30分～17時00分	9時30分～17時00分
特別展示室	全室	0件	0件	3件
	1/2室	0件	0件	0件
学習・研修室	全室	5件	4件	7件
	1/2室	0件	0件	0件

※科学館事業による使用実績を除く

4 施設へのアクセス

起点	交通手段	路線等
J R旭川駅前 (27 番乗り場)	徒歩 25 分	—
	バス (「科学館前」下車)	①旭川電気軌道バス 82 番線 「南高前行き」乗車 ②旭川電気軌道バス 84 番線 「共栄バスセンター行き」乗車
1 条 8 丁目 (17 番乗り場)		旭川電気軌道バス 33 番線 「共栄バスセンター行き」乗車
J R 旭川四条駅	徒歩 15 分	—
旭川空港	バス (「宮前通東」下車) 徒歩 5 分	・旭川電気軌道バス 77 番線 「旭川市内行き」
その他	自動車	・旭川鷹栖 I.C. から約 25 分 ・旭川北 I.C. から約 45 分



旭川市科学館
ホームページ



サイパルチャンネル
(YouTube)



旭川市科学館サイパル
(Instagram)



テック・ラボ
(Instagram)



旭川市科学館
X (旧 Twitter)



旭川市科学館天文チーム
X (旧 Twitter)



テック・ラボ
X (旧 Twitter)



令和7(2025)年度版
旭川市科学館報 Vol.18
令和8年5月発行

発行者 旭川市科学館
旭川市科学館 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番32号
TEL 0166-31-3186 FAX 0166-31-3310
ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/>
メールアドレス kagakukan@city.asahikawa.lg.jp
